

令和5年7月20日（木）
午後5時から午後7時まで
教育センター2階 第二中研修室

令和5年度第2回みたか環境活動推進会議 議事録（要旨）

<参加者>

中島会長、大谷内副会長、岡村委員、大平委員、藤田委員、中山委員、阪中委員、籠宮委員、藤沢委員、石原委員、吉永委員、並河委員、石井委員、井上委員、事務局

<傍聴人>

0人

<次第>

- 1 挨拶
- 2 事務局より事務連絡
- 3 議題
 - (1) ニュースレター「みたか環境ひろば」について
 - (2) 委員研修の実施報告について
 - (3) ふじみまつりの内容について
 - (4) 令和6年度の活動について
 - (5) その他
- 4 次回会議の日程について
- 5 閉会

<議事内容（要旨）>

- 1 挨拶

中島会長より、6月実施した委員研修について、三鷹市内の環境や文化に触れ、環境配慮に関する施設見学を行い、有意義な研修になったことを報告した。
- 2 事務局より事務連絡

委員定数15名のうち14名が出席していることを報告した。また、本会議の議事録について、委員の承認を得て、公開することを報告した。また、傍聴希望者がいないことを報告した。
- 3 議題
 - (1) ニュースレター「みたか環境ひろば」について

編集委員の阪中委員より、令和5年7月1日に第84号を発行した旨の報告をした。また、次号である第85号の編集担当委員と原稿締切日を確認した。
 - (2) 委員研修の実施報告について

大谷内副会長より、6月に実施した委員研修の報告を行った。また、参加した各

委員より、委員研修について印象に残ったことや感想を述べ、不参加した委員とも共有を諮った。今後の環境啓発活動を行っていく情報とすることができた。

(3) ふじみまつりの内容について

ふじみまつりへの出展内容について検討した。事務局から、昨年度や過去の出展内容について説明があった。各委員より、提案内容の説明があった。ごみの分別作業を競技にするという案に対して、実際のごみを準備する点に懸念する意見、競技ではなくクイズに変えるという意見やレベル分け、賞品に地域ポイントを付与する意見などが挙げられた。分別クイズについては他の出展団体と調整を行う可能性があることが事務局から伝えられた。自転車発電については、蓄電機能はないため充電等のデモンストレーションはできないが、子どもが興味を示すうえ、待機列の回転も速いため、広く啓発しやすいことを確認した。パネル展示については出展内容に関連するパネルを作成し展示することで、来場者へより啓発が可能であるとの意見が挙げられた。ワークショップについてはエコたわし、みつろうラップ、芳香剤や新聞紙バッグを作る案が挙げられた。エコたわしは短時間で作成できるメリットがあるが、アクリル毛糸を使用するためマイクロプラスチックの懸念があり天然由来の材料が使えるとより良いという意見が挙げられた。みつろうラップは昨年好評だったが、アイロンの電源の供給方法が課題であり、トヨタモビリティ東京株式会社の吉永委員より昨年同様環境配慮車を準備することは可能であるとの意見が挙げられた。新聞紙エコバッグは簡単にできるため、みつろうラップの整理券終了後にも可能であるという意見が挙げられた。

挙げられた意見を集約し、ワークショップ・自転車発電・クイズ・パネル展示を、テントを使用し屋外で行う方向性で進め、詳細は実行委員を募って調整することを確認した。実行委員を募ったところ、中島委員、大谷内委員、大平委員、藤田委員、中山委員、石原委員、並河委員が立候補した。

(4) 令和6年度の活動について

事務局より、本会議の役割や過去の活動例について説明した。大平委員より講演会、乗馬体験の実施、大谷内委員より連続講座の開催、石原委員より市内一掃（ごみゼロ）や打ち水の周知・実施、中山委員から小学校総合学習（特に低学年を対象）での出張講座の提案があった。

(5) その他

事務局より、環境政策課が実施する夏の環境学習イベントと生涯学習課が実施する連続講座の案内を行った。

4 次回会議の日程について

令和5年11月上旬頃（ふじみまつり開催前）に会議開催を予定しており、事務局が別途日程を調整する。

5 閉会

大谷内副会長より、次回の会議開催までの委員同士のコミュニケーションツールに関する提案があったが、事務局から意見交換会の開催は可能であることを説明した。